

市区町村におけるがん検診の費用に関する調査結果

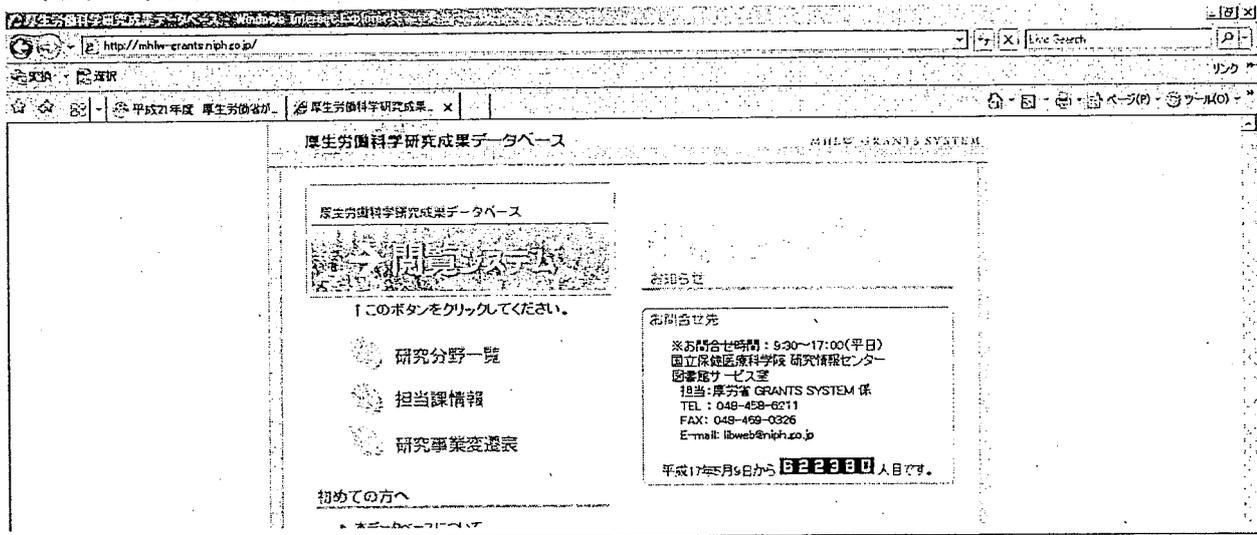
	平成20年度実績額				平成21年度予算額			
	全てのがん検診		うち胃、子宮、乳、肺、大腸		全てのがん検診		うち胃、子宮、乳、肺、大腸	
	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)
北海道	3,457,885	637,504	3,387,995	609,015	3,918,182	715,179	3,846,561	694,139
青森県	1,590,355	198,995	1,483,188	177,628	1,798,350	211,600	1,686,864	197,790
岩手県	1,646,706	250,216	1,512,146	218,596	1,731,937	276,239	1,595,592	239,852
宮城県	3,425,326	608,907	3,287,137	568,315	3,471,265	600,724	3,320,486	558,671
秋田県	907,165	194,161	811,350	167,811	1,033,903	214,111	914,627	189,671
山形県	1,552,416	466,581	1,427,111	402,183	1,810,499	523,902	1,652,557	453,953
福島県	3,104,832	287,010	2,579,160	278,341	3,077,691	323,979	2,935,775	312,698
茨城県	1,948,110	345,205	1,618,901	289,228	2,220,078	378,384	1,856,037	312,121
栃木県	1,958,125	240,999	1,490,966	196,224	2,126,434	262,651	1,711,184	220,970
群馬県	2,172,610	218,227	1,862,456	189,505	2,285,587	234,835	2,043,170	210,959
埼玉県	6,631,318	481,411	6,130,595	441,656	7,444,315	549,038	6,888,995	501,684
千葉県	6,893,067	557,728	6,058,646	474,545	7,620,919	645,458	6,693,737	550,317
東京都	10,597,629	443,965	9,973,365	408,120	12,777,093	490,226	11,962,394	439,846
神奈川県	7,416,493	1,064,480	6,998,249	1,028,752	7,718,994	987,995	7,358,802	947,606
新潟県	2,653,180	257,456	2,134,732	238,846	2,670,058	266,556	2,206,633	244,573
富山県	1,319,364	166,131	1,151,198	146,389	1,258,403	155,088	1,095,265	144,333
石川県	1,115,768	123,056	969,627	101,567	1,114,577	130,901	977,258	108,436
福井県	396,373	64,847	363,179	59,251	391,891	60,881	370,652	57,040
山梨県	1,165,912	169,552	714,469	115,259	1,303,993	173,092	760,490	120,695
長野県	1,442,877	317,506	1,230,075	262,633	1,724,802	393,060	1,481,216	325,738
岐阜県	1,301,540	198,640	1,219,800	184,430	1,468,891	220,860	1,380,625	203,180
静岡県	3,873,192	473,706	3,329,723	398,312	4,256,554	508,687	3,683,045	430,113
愛知県	6,480,586	852,489	6,106,802	791,545	7,364,597	1,023,554	6,808,088	938,810
三重県	1,504,892	282,902	1,221,473	207,370	2,103,725	261,436	1,576,341	213,824
滋賀県	529,129	94,128	518,054	92,684	636,155	100,224	622,545	97,086
京都府	1,089,542	53,418	1,050,891	52,468	1,222,082	61,151	1,185,013	60,163
大阪府	5,207,830	301,404	5,004,311	281,460	5,957,978	324,011	5,725,578	300,937
兵庫県	2,596,623	396,304	2,465,000	361,256	2,862,391	436,864	2,766,317	409,577
奈良県	811,338	150,599	799,446	148,467	988,889	169,055	973,472	166,567
和歌山県	820,682	85,266	778,360	79,976	978,480	98,981	922,883	93,458
鳥取県	886,057	138,131	727,911	115,945	955,269	154,776	903,420	140,841
島根県	406,977	68,036	374,118	60,283	441,891	70,258	402,290	63,289
岡山県	2,059,336	309,824	1,951,189	284,923	2,193,451	328,820	2,076,392	302,513
広島県	1,532,315	209,646	1,468,932	202,727	1,834,006	235,726	1,756,236	227,354
山口県	954,819	163,892	910,905	133,815	1,141,138	194,784	1,085,744	158,125
徳島県	432,250	64,947	402,225	61,039	587,805	82,432	550,843	74,063
香川県	870,117	171,932	743,296	148,404	999,802	202,725	848,239	176,880
愛媛県	797,837	160,757	555,741	88,683	967,163	195,673	646,208	102,586
高知県	360,779	39,733	352,455	38,877	444,197	45,707	434,757	44,616
福岡県	2,359,508	382,691	2,230,258	353,372	2,669,583	414,142	2,486,578	375,257
佐賀県	478,670	61,118	452,635	57,611	599,765	65,158	563,516	61,262
長崎県	1,206,452	122,521	930,024	96,891	1,348,492	137,578	1,039,378	109,292
熊本県	1,498,362	347,776	1,156,607	261,408	1,590,769	379,479	1,235,897	286,574
大分県	811,678	145,093	751,422	129,835	984,776	170,318	907,086	162,135
宮崎県	750,667	132,926	621,671	108,051	826,887	144,964	681,749	104,290
鹿児島県	1,362,288	236,948	1,248,666	199,617	1,450,886	237,835	1,357,498	192,231
沖縄県	694,037	146,093	678,496	143,323	728,224	150,469	702,156	145,929
合計	103,073,013	12,884,857	93,234,956	11,456,635	115,102,816	14,009,565	104,680,188	12,472,043

※ 各市区町村別の費用の調査結果については、第11回がん対策推進協議会終了後に、ホームページにて公表予定

がんに関する研究成果の公表等

厚生労働科学研究成果データベース <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

厚生労働科学研究の研究成果を広く国民に情報公開するために、研究報告書をデータベース化しており、インターネット上で閲覧、検索等を行うことが可能。



第3次対がん総合戦略研究事業

平成20年度 平成21年2月28日(土) 13:00~15:30
国際研究交流会館(東京・築地 国立がんセンター内)

平成21年度 年度中開催予定

がん臨床研究事業

平成20年度 25件の成果発表会を開催 <http://www.jcancer.jp/kinten/2008jippan.html>

平成21年度 28件の成果発表会を開催予定 <http://www.jcancer.jp/kinten/2009jippan.html>

がん研究助成金

平成20年度 平成20年10月18日(土) 公開講座「有効な新薬をより早く」

平成21年度 平成21年11月07日(土) 公開講座「わが国発の新しいがん治療薬の開発を目指して」

がん研究戦略作業部会の設置について

平成21年7月22日
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
ライフサイエンス委員会

1. 設置の趣旨

我が国の死亡原因の第1位であるがんについては、がん対策基本法(平成18年法律第98号)に基づく「がん対策推進基本計画」(平成19年6月15日閣議決定)や「第3次対がん10か年総合戦略」(平成15年7月25日文部科学省・厚生労働省)が策定され、これまで関係府省により、がんの研究、予防及び医療を総合的に推進してきている。

このような背景を踏まえ、文部科学省として、基礎研究やその成果を積極的に医療へ応用する橋渡し研究において、総合的・戦略的にがん研究を推進するための今後の取組を調査するため、ライフサイエンス委員会にがん研究戦略作業部会を設置する。

2. 調査事項

- (1) がん研究の現状について
- (2) 今後のがん研究のあり方について
- (3) がん研究を総合的・戦略的に推進するための今後の取組について

3. 設置期間

作業部会の設置が決定された日から平成23年1月31日までとする。

がん研究戦略作業部会 委員

(敬称略、五十音順)

(◎：主査、○：主査代理)

- | | | |
|--------------|-------------|----------------------------------|
| うえだ
上田 | りゅうぞう
龍三 | 名古屋市病院局 局長
名古屋市立大学大学院医学研究科 教授 |
| えすみ
江角 | ひろやす
浩安 | 国立がんセンター東病院 院長 |
| ◎ かきぞえ
垣添 | ただお
忠生 | 国立がんセンター 名誉総長 |
| たじま
田島 | かずお
和雄 | 愛知県がんセンター研究所 所長 |
| たにくち
谷口 | ただつぐ
維紹 | 東京大学大学院医学系研究科 教授 |
| つきた
月田 | さちこ
早智子 | 大阪大学大学院生命機能研究科／医学系研究科 教授 |
| なかむら
中村 | ゆうすけ
祐輔 | 東京大学医科学研究所 教授 |
| にしかわ
西川 | しんいち
伸一 | 理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長 |
| のだ
野田 | てつお
哲生 | 財団法人癌研究会癌研究所 理事・所長 |
| はぶ
垣生 | そのこ
園子 | 順天堂大学医学部 客員教授 |
| ひろはし
廣橋 | せつお
説雄 | 国立がんセンター 総長 |
| ふかみ
深見 | きよこ
希代子 | 東京薬科大学生命科学部ゲノム情報学研究室 教授 |
| みやぞの
宮園 | こうへい
浩平 | 東京大学大学院医学系研究科 教授 |
| ○ もんでん
門田 | もりと
守人 | 大阪大学 理事・副学長 |
| わかばやし
若林 | けいじ
敬二 | 国立がんセンター研究所 所長 |

患者必携配布に向けた検討について

インターネットの利用の有無に関わらず、得られる情報に差が生じないようにする必要
があることから、がんに関する情報を掲載したパンフレットやがん患者が必要な情
報を取りまとめた患者必携を作成し、拠点病院等がん診療を行っている医療機関
に提供していく。

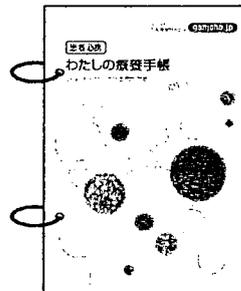
- 当該パンフレットや、がんの種類による特性等も踏まえた患者必携等に含まれる情
報をすべてのがん患者及びその家族が入手できるようにすることを目標とする。



A4判 自宅保管

がんと向き合うための
横断的情報

心のサポート
療養情報
生活支援情報
体験談



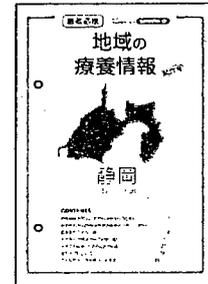
A5判 携帯

書き込み式
バイнда

都道府県・地域の
ページを差し込み



チェックリスト
診療メモ
ダイアリー
かかりつけリスト



A5シート/冊子

地域に特化した
情報

医療機関
支援窓口

がん情報サービス ganjoho.jp

前回以降の活動

- H21年 6月 第10回がん対策推進協議会に試作版提示
試作版をがん情報サービスから公開
Webアンケート(53名、11月26日時点)
- 7月 全国がん対策関係主管課長会議、都道府県がん診療連携
拠点病院連絡協議会で紹介
市民向けがん情報講演会(652名)
- 7月～ 普及方法について検討
- 7～9月 推進協議会メンバー等にヒアリング(6名)
- 9月 患者・市民パネルに「内容と構成」「普及の進め方」に関す
るアンケート実施(68名回答)
- 10月 完成版にむけた患者市民パネル検討会(46名参加)
- 10～1月 6施設で試験配布(第3次対がん渡邊班)
茨城県立中央、栃木がん、四国がん、高知医療セ
琉球大学、静岡がん(医療者のみ)
- 12月 拠点病院に対するアンケート(同研究班)
- 12月 第11回がん対策推進協議会に完成版作成に向けた
改修案・配布方針提示

がん情報サービス ganjoho.jp

患者必携試作版に対する意見のまとめ

<内容と構成について>

1. 各がん種の部分を含める必要はないのでは
2. 用語集を充実するべき
3. 「患者さんの手記」がもっとあった方がよい
4. 手にとるガイドも、大きさを統一し、携帯できるようにした方がよい。
5. 地域情報の作成は、各地域で取り組むことが望ましい

<配布方法、普及の進め方について>

1. まずは、新たに診断された方を優先するべき
2. ただ、渡すだけでなく、医療者から使い方などについての説明が必要
3. 医療者についても、十分な説明が必要
4. しっかりと体制が整った施設から、配布を始める
5. すべての医療機関に見本をおくなど、広く存在を知らせることが必要
6. 配布施設について、まずは、拠点病院からということで良いが、地域の状況等踏まえ、各都道府県の推進協議会で検討するのが良いと考える。

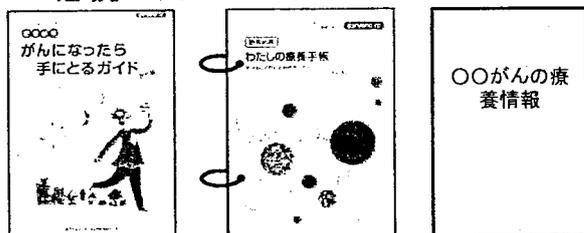
3

がん情報サービス ganjoho.jp

患者必携完成版に向けた方針(案)

1. 「がんになったら手にとるガイド」のサイズ変更
(A4版→A5版) 文字サイズはそのまま
2. 各がん種の療養情報を〇〇がんの療養情報として分冊化
胃がん、大腸がん、乳がん、肝細胞がん、肺がん、血液・リンパのがん、小児がん、食道がん、胆道と膵臓のがん、子宮・卵巣がん、腎臓・尿管・膀胱のがん、前立腺がん、頭頸部のがん、脳の腫瘍、骨と軟部組織のがん、皮膚のがん(16種類)
3. 用語集・「患者さんの手記」を追加
4. 地域情報について、ひな形を示すのみとし、各都道府県版の作成は都道府県に委ねる

必携セット



必携ファミリー



配布に向けた方針(案)

がんの診断が伝えられて間もない時期の患者に
担当医の指示により
担当医、看護師、相談員等医療機関スタッフから
医療機関にて渡す



1. 都道府県拠点病院等、配布体制が整備された拠点病院から配布を開始する
2. 配布施設については、各都道府県で決めていただく(当初は、施設を限定し、段階的に増やしていく)
3. 受注・配送センターを準備し、配布施設からの連絡で配送する
4. 配布施設のためのマニュアル等の作成
5. 必携に関する問い合わせ窓口を用意する
6. 認知度向上のための広報を実施する

上記体制が整う平成22年度後半を配布開始を想定する。

5

がん診療連携拠点病院院内がん登録 全国集計報告書について

- ・ がん診療連携拠点病院の院内がん登録のデータを初めて集計した
- ・ 2007年1月1日～12月31日に拠点病院で、診断あるいは治療、または他施設で診断・治療後に、拠点病院を初診したケースを登録

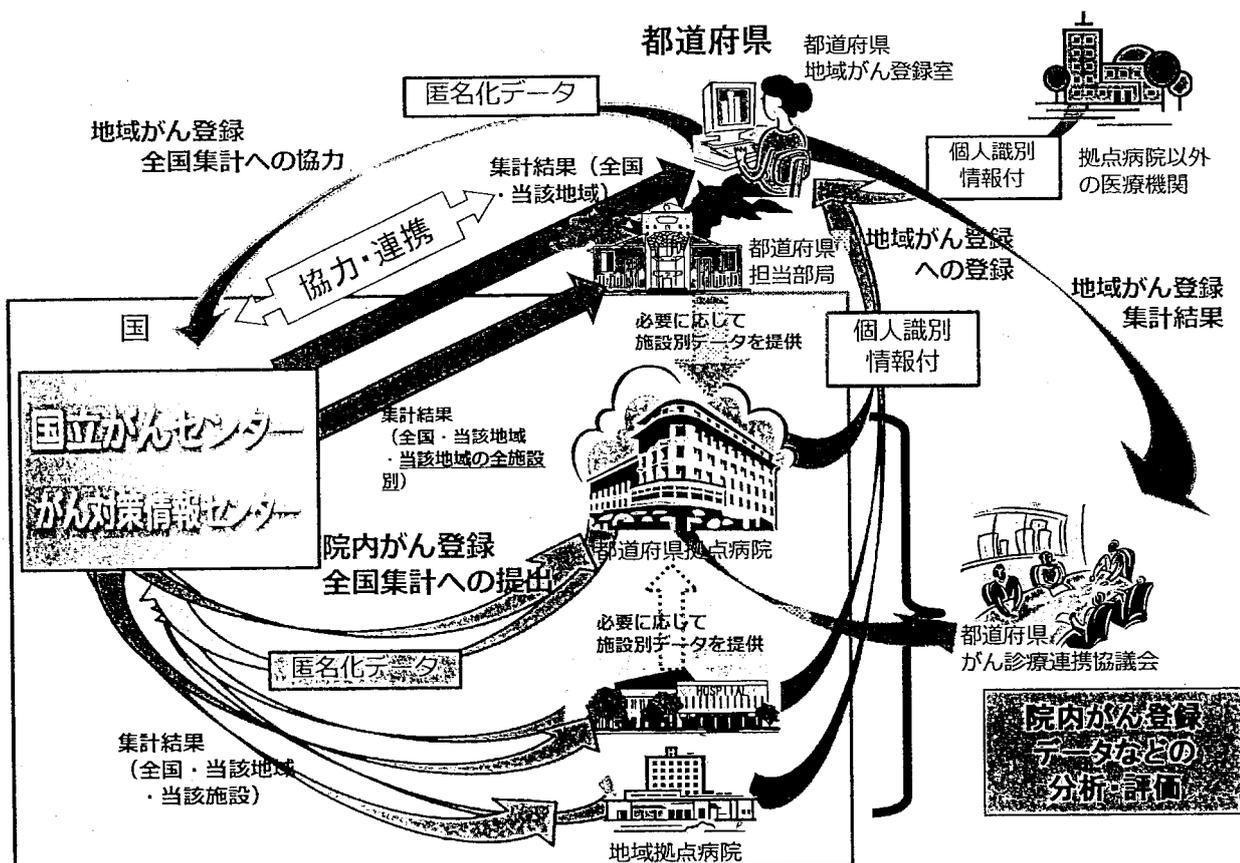
305施設(353施設に依頼)の拠点病院より、327,889件を収集
→がん罹患の約50%

※本報告書は

がん情報サービス ganjoho.jp

医療関係の方へ「統計」からダウンロードできます。

地域がん登録を含めた連携体制イメージ



今回の集計で見えてきたこと

- 拠点病院においても、胃・大腸・肺がんの登録件数が多い。
- 前立腺がんの登録件数が多い。(23,605例)
=> 肝がん(16,782例)より多い
- がん検診等で発見された割合(検診+ドックで16.7%)などもより詳細な評価ができる可能性がでてきた。
- がんの種類とステージの組み合わせでの治療方法が改めて確認できた。
- 越境受診のパターンも見られ、都道府県毎の情報収集の方法の検討も必要であることを確認した。

拠点病院 院内がん登録の意義と展望

現在の院内がん登録の問題点や様々な状況に対する仮説が導かれた。



継続していくことで、問題点を改善したり、新しい課題を発見したりして、より正確で役に立つ情報を集めて公開していくことが可能となる。



1. 各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる。
2. 各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する。

今後は、施設別データの公表を検討

2011年に予後調査を実施し、3年生存率を算出予定